

自分の生き方を求め 今を大切に
朝日中生を育成する

朝日中通心

生徒数 (令和6. 1. 31現在) 総数 293名
1年 105名 2年 87名 3年 101名

奄美市名瀬朝日29番地1
TEL 52-1195 FAX 52-1695
HP: <http://www.city.amami.kagoshima.jp/asahi-j/>



琢磨

主造律
自創規

世の中にたえて桜のなかりせば
春の心はのどけからまし
(在原業平・古今和歌集)

校長 山宗功

【現代語訳】
この世の中に、全く桜というものがなかったなら、春を過ごす人の心はどんなにのどかであることでしょうか。

学校の桜の木にも花がほころびはじめ、沿道の桜の木も私たちの目を楽しませる季節となってきました。奄美群島に咲く桜は、緋寒桜。花の色が緋色であることから名付けられたと言われており、淡い色のソメイヨシノとは一線を画しています。冒頭の和歌の在原業平（ありわらのなりひら）が詠んだ桜とは同じではないかもしれませんが、桜を愛でる気持ちは、いにしえの人も今の私たちも大差ないのではないのでしょうか。この和歌は、たくさんの人々が桜の花の下で桜そのものの美しさを愛でている中、業平は「桜がなかったならのどかなのに（桜があるから心が揺れ動かされて落ち着かない）」と周りの人々とは違った視点で桜をとらえます。桜が存在するために人々の心が穏やかでないことを述べて、人の心を騒ぎ立たせる力のある桜の素晴らしさを伝えようとしているその切り口が絶妙な、味わい深い和歌です。在原業平は源氏物語の光源氏のモデル、伊勢物語の主人公とも言われるイケメン男子で、六歌仙、三十六歌仙にも名を連ねる平安時代を代表する歌人です。紡ぎ出される和歌も秀逸であり、平安時代前期の勅撰和歌集『古今和歌集』では、約三十首の和歌が選ばれています。

私立高校の受験を終え、公立高校の受験を待つ三年生や保護者、中学校の教員にとっては、「世の中にたえて入試のなかりせば春の心はのどけからまし」といった心境であろうかと思えます。

桜の花の開花は、よく入試の合格を表す比喻として用いられますが、すべての受験生に「サクラサク」の通知が来ることを心より願っています。



三学期 始業式



一月九日より、三学期が始まりました。各学年や生徒会の代表生徒が二学期の反省を踏まえながら、三学期や来年度に向けた決意を発表しました。どの代表者も、気概に満ちた表情で次年度に向けた準備の学期として具体的な行動目標をあげていました。

三年生にとっては、受験を迎える学期になります。現在も感染症が広がりつつあり、対策を徹底しながら臨まなければいけない状況にあります。今年も何とかこの厳しい局面を乗り切ってくれることを願うばかりです。

健康管理に気を付け、進路実現に向けてこれまで学習してきた成果を出すためにも残り少ない中学校生活の一日一日を大切にしたいと思えます。がんばれ、朝日中生！



鹿児島をまるごと味わう週間（学校給食週間）

学校給食は明治二十二年十月、山形県鶴岡市忠愛小学校でお弁当をもってこれられない児童のために「おにぎり焼き魚・漬け物」の給食を用意したのがはじまりです。やがて、全国各地で給食が実施されるようになりました。しかし、戦争が激しくなると給食は中断されました。第二次世界大戦後、食糧事情は大変ひどく、栄養不足の子どもを救うためアメリカなどからの援助をもとに昭和二十一年十二月二十四日に給食が再開されました。この援助はユニセフを通じて昭和三十九年まで続けられました。この日を「学校給食記念日」としていましたが、冬休みと重なることから、一月二十四日を学校給食記念日として一月二十四日を含む一週間を全国学校給食週間とするようになりました。

奄美市立学校給食センターでは、本年度一月二十二日～二十六日を学校給食週間とし、鹿児島県や奄美の食材、郷土料理を献立に取り入れた「鹿児島をまるごと味わう学校給食」を実施しています。

学校給食の献立の移り変わり

<p>明治22年</p> <p>おにぎり 塩づけ 菜の漬物</p>	<p>昭和20年</p> <p>ミルク(脱脂粉乳) みそ汁</p>	<p>昭和27年</p> <p>コッペパン ミルク(脱脂粉乳) 動物の食品(肉) センキャップ シュウ</p>
<p>今の給食</p> <p>如黒豚肉を使用したさつま豚献立がつけられています。</p>	<p>昭和52年</p> <p>カレーライス 牛乳 塩もみ 果物(バナナ) スープ</p>	<p>昭和40年</p> <p>ソフトめんのカレーあんかけ 牛乳 甘酢あん 果物(黄桃) チーズ</p>

フダン草	ハンダマ	フル(葉にんにく)	しび(キハダマグロ)
パパイア	島うり	つばしや(つわぶき)	しぶり(とうがん)

給食にもよく登場する奄美の食材

毎年ありがとうございます。花を贈呈していただきました！



1月22日(月)に、毎年恒例となっている奄美大島法人会女性部会の方が来校され、たくさんの花(ビオラ)を贈呈していただきました。早速、次の日には、整備部や学級園作業担当の生徒が、いただいた苗を鉢へ植え替えてくれました。

花や木を育てることで、豊かな感性や個性、想像力などを育むことができたり、周りの人に配慮する心や善悪を判断する力が身に付くと言われてます。3月には卒業式、4月には入学式を控えています。いただいた苗は大切に育てていきたいと思ひます。そして、卒業式や入学式を、色とりどりの花に囲まれた華やかな式にできればと思ひます。

インフルエンザやコロナも収束してはいませんが、できることに精一杯取り組んでいきたいですね。

校内最後の力試し 3年生実力テスト

1, 2年生鹿児島定着度調査

1月9日(火)、10日(水)に実力テストを実施しました。冬休み明け直後のテストになりましたが、冬休みの学習の成果の確認や私立入試に向けた校内最後の力試しになります。3年生は1月22日から私立高校の一般入試が本格的に始まりました。そのため、以前にも増して集中力を高め、真剣に取り組んでくれました。

新年に入り、感染症も増加傾向になってきていますが、自分のもっている実力を十分発揮するためにも健康管理に十分気を付け、私立入試に望んでほしいと思ひます。

1月16日(火)・17日(水)に1, 2年生を対象とした鹿児島定着度調査を実施しました。この調査の目的は、生徒が身に付けさせることが求められている知識・技能や思考力・判断力・表現力等に関する学習状況を把握し、その結果を基に、教員の指導方法の改善を図るとともに生徒の学力向上を図ることです。

今後、調査結果を基に分析を行い、指導方法を改善しながら、確かな学力の定着を図ることができるよう、学校でも積極的に取り組んでいこうと考えています。



先生方、今年も頑張っています。

津波を想定した避難訓練



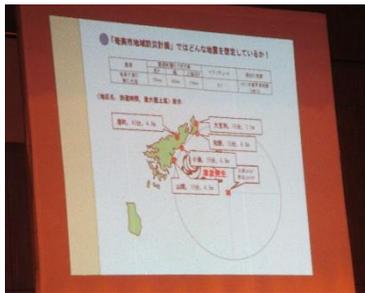
1月15日(月)にささはらメンタルクリニックの永井幹文先生をお招きして、生徒理解に関する職員研修を実施しました。思春期の青春期の違いやそれぞれのバランスが崩れたときに起こる様々な症状等についてのお話がありました。先生方もこれまでの経験を踏まえたうえで、今後の生徒への対応や関わり方を見付けるよい機会とすることができました。

今後の教育活動に生かしていきたいと思ひます。



1月22日(月)に地震による津波を想定した避難訓練を実施しました。昨年度に引き続き校舎3階に避難する垂直避難をした後、体育館へ移動し講話をしていただきました。講話ではキーワードである「自助」「共助」「公助」や「自分の命は自分で守る」ことが非常に重要であること、寝ている場所には倒れてくる物は置かないなどの話がありました。

いつ何時起こるかわからない災害に対しての心構えをするよい機会になりました。



2月学校行事

SC永田先生 14日, 21日 SC丸内先生 13日午前, 29日午前

- 1日(木) 教育相談(1, 2年) 進路学習(3年)
- 2日(金) 教育相談(1, 2年) 進路学習(3年)
- 6日(火) ジョイントプラン
- 7日(水) 学年末テスト1日目
- 8日(木) 学年末テスト2日目
- 9日(金) 学年末テスト3日目

- 11日(日) 建国記念の日
- 14日(水) 新入生説明会
- 18日(日) 市民清掃日
- 22日(木) 学年・学級PTA 家庭教育学級閉級式
- 23日(金) (祝)天皇誕生日

